

愛媛県の地震

2023年（令和5年）3月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（3月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（3月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（3月）	2
5. 地震一口メモ 普及啓発資料「漫画で解説！南海トラフ地震 その日が来たら」について	3

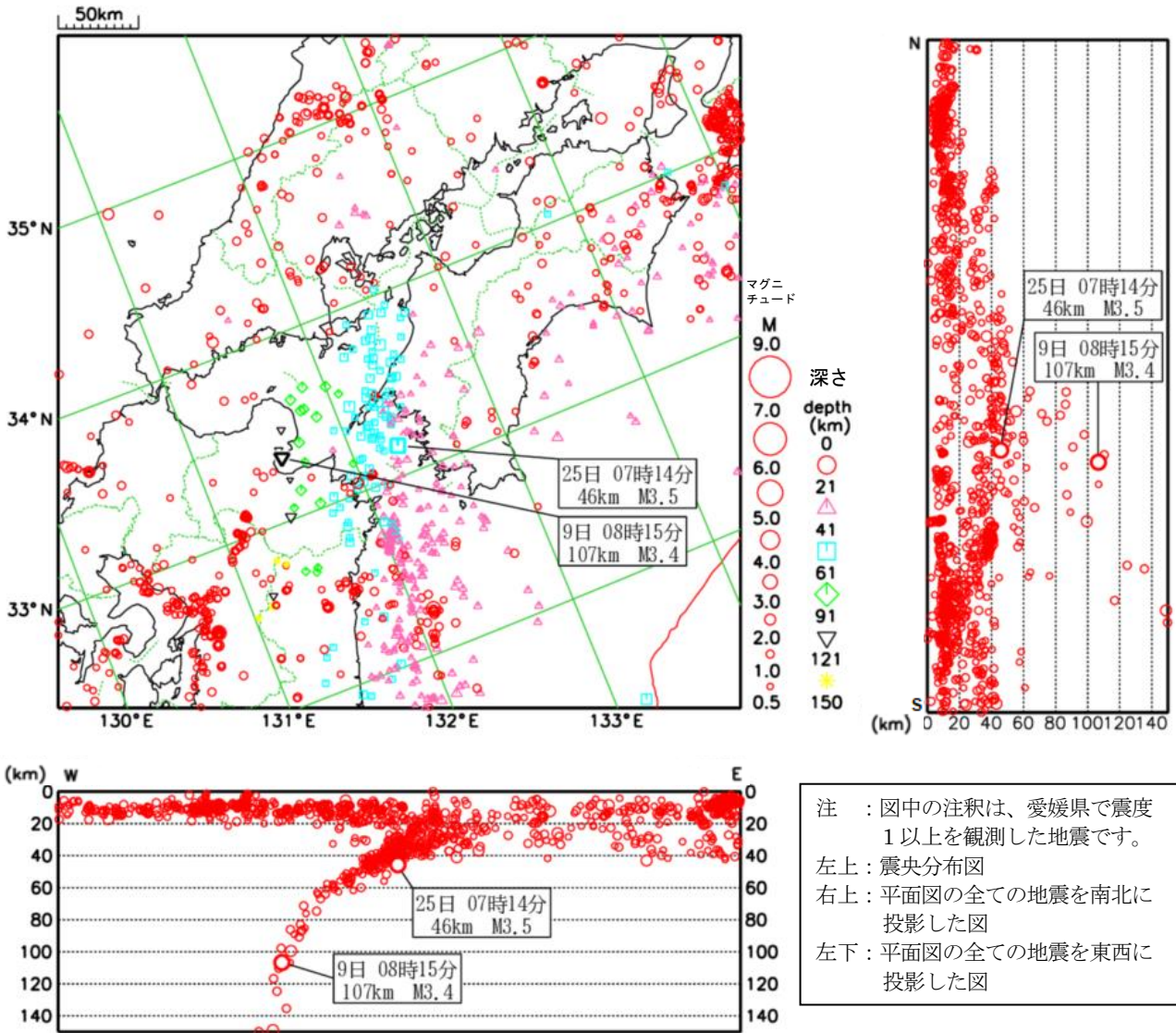
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2023年3月1日～3月31日]



2. 地震概況（3月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 50 回（先月は 65 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 2 回（先月は 2 回）でした。

9 日 08 時 15 分 伊予灘の地震（深さ 107km、M3.4）により、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市で震度 1 を観測しました。

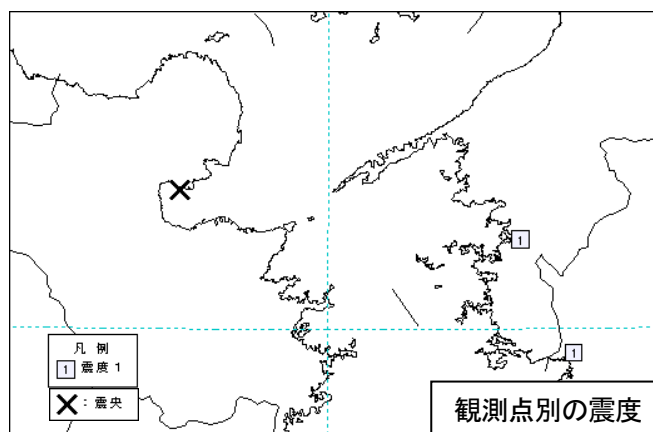
25 日 07 時 14 分 豊後水道の地震（深さ 46km、M3.5）により、愛媛県宇和島市で震度 2 を観測したほか、愛媛県、高知県、大分県で震度 1 を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（3月）

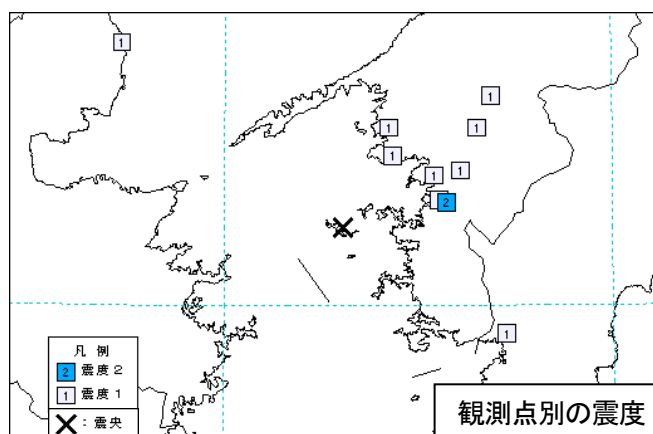
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2023年03月09日08時15分	伊予灘	33° 20.7' N	131° 33.3' E	107km	M3.4	1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：宇和島市丸穂＊						
2023年03月25日07時14分	豊後水道	33° 10.0' N	132° 18.3' E	46km	M3.5	2
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 2：宇和島市丸穂＊						
震度 1：宇和島市住吉町, 宇和島市吉田町＊, 宇和島市三間町＊, 大洲市肱川町＊ 西予市野村町, 西予市三瓶町＊, 西予市明浜町＊						

注：＊印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（3月）



3月9日08時15分 伊予灘



3月25日07時14分 豊後水道

5. 地震一口メモ

普及啓発資料「マンガで解説！南海トラフ地震 その日が来たら・・・」について

今回は、普及啓発資料「マンガで解説！南海トラフ地震 その日が来たら・・・」を紹介します。

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震（1944 年）及び昭和南海地震（1946 年））が発生してから 70 年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まっています。また、南海地域における地震と東海地域における地震が、同時に発生している場合と、若干の時間差（数年以内）をもって発生している場合があります。地震の規模はマグニチュード 8～9 クラスと想定されており、人命、ライフライン共に甚大な被害が予想されます。

このことから、南海トラフ地震による被害の影響やとるべき防災対応について、分かりやすい形で住民に普及啓発を行い、住民一人ひとりが自身と身近な人々の命を守るために、日頃からの備えを確認する動機として、内閣府、消防庁、気象庁が共同で普及啓発資料「マンガで解説！南海トラフ地震 その日が来たら・・・」を作成しました。

この資料は、西側編と東側編の 2 種類があり、西側編では四国地方に住む一家が、南海トラフの想定震源域内の東側で発生した地震をきっかけに、南海トラフ地震臨時情報が発表され、続けて西側で発生するかもしれない地震に備えるところが描かれています。地震発生から避難、その後の生活についての流れが分かりやすいマンガで描かれています。大人子供を問わず家族や親戚内で情報を共有し、地震への備えを再確認してください。



【概要】

南海トラフ地震の発生から大津波警報の発表、南海トラフ地震臨時情報の発表、その後の避難生活の様子を漫画で解説しています。

大きな地震への備え、南海トラフ地震臨時情報、マイタイムラインについて解説しています。

※西側編は、静岡沖で先に地震が発生すると想定した南海トラフの西側地域にお住まいの方向けの内容、東側編は、四国沖で先に地震が発生すると想定した南海トラフの東側地域にお住まいの方向けの内容になります。

【資料の入手法】

次のホームページからダウンロード可能です。

気象庁：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/index.html

内閣府：<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/leaflet.html>

また、松山地方気象台に小冊子がありますので、ご希望の方は気象台までお問い合わせください。